

平成 28 年度
小規模多機能型居宅介護 サービス評価

- ◆事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・（事-①～⑨）
- ◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28年8月7日 (14:00~14:20)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 小野寺香、小野寺長、瀬川、小野寺純、田中、千葉美、

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	7人	1人	0人	9人

前回の改善計画
事前訪問時に確認した、本人、家族の状況、ニーズが、利用開始から変わらないか定期的に確認し、スタッフ間で明確に共有し合う。
前回の改善計画に対する取組み結果
利用開始前に本人、家族の状況、ニーズについて検討会やミーティングでの話し合いスタッフ間で情報を共有する事ができましたが一部できない利用者様もいました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	8	0	0	9
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	0	6	3	0	9
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2	6	1	0	9
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	0	6	3	0	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	利用開始前に事前訪問し本人と家族のニーズについて確認を行いました。 本人の状態などを毎日のミーティングや検討会で話し合い、取組み方について話し合っています。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	利用者の趣味や嗜好が分からず、趣味活動を活発に行えなかった。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	本人に対するニーズが現状のままでいいかを、定期的に確認し内容を家族、本人と話し合い必要な支援を検討して行く。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28年8月9日 (14:00~14:30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 佐藤、小野寺長、三浦貴、三浦障、瀬川、田中、

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	6人	1人	1人	9人

前回の改善計画
目標がはっきり決まっていない利用者への対応は、本人の昔からの生活環境、趣味などを知ることで楽しみを持って頂く事で意欲的に行えるように支援する。

前回の改善計画に対する取組み結果
利用者様から昔からの生活環境、趣味などを聞き、スタッフとコミュニケーションが図れて目標に向かって関わる事ができるようになりましたが、声かけが上手くいかず目標が決まらない利用者もいました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	5	3	0	9
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	4	4	0	9
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	5	2	1	9
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	6	1	1	9

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
本人の趣味などを聞きながら、目標に向かってかかわりながらミーティングで共有し、次の対応に活かし取り組める環境ができた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
当面の目標を目指した日々のかかわりや、病気によって意欲的に行えない人への声かけがうまくいかず戸惑った。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
本人の昔からの生活環境、趣味などを良く把握できていなかったため、個々の居宅サービス計画書、サポートプランに書かれている目標を理解し日々関わって行く。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28年8月9日 (14:00~14:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 佐藤、小野寺長、三浦貴、三浦障、瀬川、田中、

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	4人	2人	1人	9人

前回の改善計画	以前の暮らしと、自宅での暮らし方を本人より伺うことが難しいので、家族より情報収集し、本人の思いに添う支援を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	家族から情報収集しスタッフ間で共有し本人の思いに添う支援に近近づける事ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	3	5	1	9
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	6	2	0	1	9
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	6	1	1	9
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	6	2	0	1	9
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	5	1	1	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者の状況に合わせた基本的介護は出来ています。体調の変化、不調時はミーティング、申し送りノートで確認しスタッフ間で共有した。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
利用者様の自宅での生活環境を把握できてなく、情報収集が不十分なところもあり対応出来てない事もあった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
家族から情報収集し自宅での生活環境を把握し、本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援を行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成28年8月10日(14:00~14:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 三浦貴、千葉喜、小野寺香、瀬川、田中、千葉美、

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	5人	3人	1人	9人

前回の改善計画	地域、民生委員、近所の方から生活スタイル、人間関係を伺い地域資源の情報を家族、本人に伝えて行く。
前回の改善計画に対する取組み結果	回覧板で行事予定を伝え地域交流の機会が増え、地域の行事、情報が伝わった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	4	3	1	9
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	4	2	1	8
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	5	2	2	9
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	5	2	2	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること お茶会を行い、健康体操を開催し地域交流が出来た。 回覧板で行事予定を伝える事ができ、また地域の行事も分かり参加できた。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 地域の方と交流できる機会を持ちますが、利用者との距離がちぢまらず地域との関わりができず行事に参加できてない人もいた。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 本人の状態や地域資源の情報収集し一人一人に合った行事、地域に参加出来るよう検討を行う。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成28年8月10日(14:00~14:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 三浦貴、千葉喜、小野寺香、瀬川、田中、千葉美

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	3人	0人	1人	9人

前回の改善計画
その時々に必要な支援が行えるよう本人の状態、家族の状況を細目に確認しスタッフ間で共有する。

前回の改善計画に対する取組み結果
その時の本人の状態に合わせて柔軟な支援ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	3	5	0	1	9
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	7	1	0	1	9
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	8	0	0	1	9
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	6	2	0	1	9

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
その時の本人の状態に合わせて、スタッフ間で情報を共有し柔軟な支援が出来ている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
利用者様の状態を把握しないまま支援を行っていた。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
スタッフ全員が利用者様の状態に合わせ必要な支援を柔軟に対応でき申し送り、ミーティングのあり方を検討する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成28年8月11日(14:00~14:30)

6. 連携・協働

メンバー 小野寺長、千葉喜、千葉明、小野寺香、千葉美

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2人	4人	2	0人	9人

前回の改善計画	現在は地域の利用者が少ない為、地域の情報が少ない。イベントの内容を収集し検討し参加できるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	回覧板や地域の民生委員さん、区長さんより情報を頂き参加することが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	0	4	2	3	9
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	1	5	3	9
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0	4	3	2	9
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	1	5	3	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
回覧板が廻って来るようになり様々な情報収集ができ参加機会も増えた。また、各種機関とは研修会等に参加し連携できた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
利用者、全員参加が難しくいつも同じ人だけの参加になっている。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
お茶会の内容や時間、開催日を検討し定期的に行うことができるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成28年8月12日(14:00~14:30)

7. 運営

メンバー 佐藤、三浦貴、千葉喜、小野寺純、田中、千葉美

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3人	5人	0人	1人	9人

前回の改善計画	地域の方の拠点となるよう防災訓練等の参加の声かけをしていきます。
前回の改善計画に対する取組み結果	回覧板等で声かけを行い防災訓練に地域住民の方に参加して頂いた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	3	4	1	1	9
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	6	1	1	9
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	4	3	1	9
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	5	2	1	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
回覧板、広報などで地域情報収集ができ、またお茶会や健康体操の開催の案内にも回覧板を活用でき行事に参加、交流が出来ている。家族からの意見や苦情は、スタッフ間で話し合いを持ち改善している。運営委員会で、防災訓練、夏祭り等、意見を頂き地域の方が研修したい内容の意見を頂けた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
平日の為、防災訓練の実施の声かけがうまく伝わっていなかったためか、参加者が少なかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
防災訓練の協力員として地域の方々に協力を求めて行く提案をしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成28年8月13日(14:00~14:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 佐藤、三浦障、千葉明、田中、千葉美、

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	4人	3人	1人	9人

前回の改善計画	包括主催の連絡会に参加出来るようにします。
前回の改善計画に対する取組み結果	包括の連絡会に参加出来るように努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	1	7	0	1	9
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	3	3	1	9
③	地域連絡会に参加していますか	0	1	3	5	9
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	6	1	1	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 職場内、職場外の研修に参加するように努める事ができた。 日々、互いにヒヤリ、ハットの声かけを行ない、改善方法を話しあった。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること シフトの都合やその日の利用者様の状態により地域連合会への参加調整が難しかった。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 職員同志、声かけし内部、外部研修に積極的に参加するとともに介護事故を防げるようにヒヤリ、ハットに取り組む。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成28年8月13日(14:00~14:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 佐藤、三浦障、千葉明、田中、千葉美

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	5人	2人	2人	9人

前回の改善計画	今後、利用される方の為に成年後見制度を説明できるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	内部研修で行う予定です。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	5	3	0	1	9
②	虐待は行われていない	8	0	0	0	9
③	プライバシーが守られている	8	0	0	0	9
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	3	2	3	9
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5	3	0	1	9

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 内部研修で勉強を行って行く。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 現在、利用している人がいない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 内部研修で学習して行く。
---------------	--------------------------

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	栗っこ農業協同組合	代表者	吉尾 三郎	法人・事業所の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様の思いを大切に、その人らしく楽しみを持ち過ぎて頂く。 ・室内装飾や外出を利用者様と一緒にこなうことで季節の移り変わりを感じて頂く。
事業所名	J A栗っこ小規模多機能ホーム	管理者	佐藤 順子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1	0人	2人	1人	1人	1人	0人	3人	0人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・利用開始に確認した、本人、家族の状況、ニーズが、利用開始から変わりが無いか定期的に確認し、スタッフ間で明確に共有し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用開始前に本人、家族の状況、ニーズについて検討会やミーティングでの話し合いスタッフ間で情報を共有する事ができましたが一部できない利用者様もいました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の改善計画に積極的に取り組み、事後評価された上での今回の改善計画だと感じました。 ・次回の改善活動に結び付けるプロセスを繰り返すことによって、品質の維持・向上および継続的な業務改善活動を実践している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活歴、行動の中から目標を見つけコミュニケーションを行っていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・季節や行事に合わせて、装飾を考え利用者様と一緒に取り組む。 ・環境を整えいつでも、誰でも訪問しやすい場にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関がわかり易く整理整頓がされている。 ・室内に利用者の手作りの作品が沢山あり、明るく居心地よくなった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いつお邪魔してもアットホームな季節に合った雰囲気づくりがされ利用者の得意とするものが反映されている。 ・採光や風通りも良く、臭いも気にならない、大変過ごしやすい良い施設だと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・穏やかに、ゆっくりと過ごせる環境作りを行う。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方が参加出来る運営推進会議で避難訓練、その他の行事について検討する。 ・地域行事の情報を収集し、地域に関わりを持ち親睦を図り交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政区長、民生委員と連携して取り組んでいる。 ・お茶っこ会、夏祭り、クリスマス会等を開催し利用者、家族、地域の方々との親睦を定期的に行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との交流に積極的な姿勢を感じており、今後の日常的な施設運営や防災等に役立つ事業所と地域の良い関係を築いていけるものと期待します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方との防災訓練、健康体操を継続するとともに地域の方々話しやすい場所づくりを行う。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のイベント等の情報収集し地域の回覧板の活用を検討する。 ・地域交流への参加の為に、事業所内の体制作りを検討して行く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の回覧板等を活用しホームの情報を発信し地域との交流を進めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の健康状態等で地域行事への参加は一概に簡単には出て行けないでしょう。 ・無理をしない形であくまでも利用者ご本人の希望に添ってゆっくり進めたらどうでしょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事、地域イベントに交流が行えるようスタッフの体制作りをします。

<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の報告事項とともに、課題となっている事を事業所内だけで検討するのではなく推進会議で議題として多方面からの意見を伺う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・三ヶ月に一回程度、市行政担当、行政区長、民生委員、家族、利用者等を交えて開催され、ホームの近況報告、震災への備えなど話し合いを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の事業計画等、積極的に運営推進会の課題としており、検討された内容が事業に活かされていると感じています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域での取り組みに参加できるよう運営推進会議で意見交換を行う。
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練の時期と回数、あり方について運営推進会議での意見を取り入れ検討する。 ・行動マニュアルを再検討し、確実に対応出来るように体制を整える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・火災や震災、水害時等に昼夜問わず利用者が避難できる方法を職員が身に着けるとともに、地域との協力体制作りを進める。 ・避難訓練を消防署の指導の下行い、近隣への声掛けも行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの経験を活かして進める ・その時の利用者の受け入れ先の環境整備を声に出して働きかけて行く。 ・地域住民の手が必要になると思うので共に知恵を絞っていきましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・非常災害時の対応、マニュアルを運営推進会議での意見を取り入れ検討して行く。

